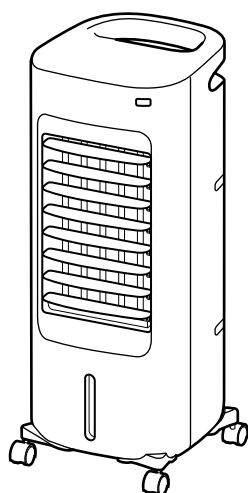


加湿つき温冷風扇

SH-C252



取扱説明書 保証書つき

このたびはシロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

この製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

日本国内専用

USE ONLY IN JAPAN

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	5
お使いになる前の準備	8
使いかた	10
お手入れ	16
故障かなと思ったら	18
仕様	21
部品・消耗品	21
長期使用製品安全表示制度に基づく 本体表示について	22
保証とアフターサービス	23
保証書	24

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。



警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子ども、取り扱いに不慣れな人、補助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



禁止

殺虫剤・整髪料・掃除用具などのスプレーをかけない

樹脂や塗装部分に変質したり、破損したりする原因になります。



禁止

踏み台にしたり、腰をかけたり、寄りかかったりしない

転倒して、けがの原因になります。



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない

ショート・故障・けがの原因になります。



覆ってはならない

過熱を防ぐため、衣類・タオル・ふとん・カバーなどで本体を覆わない

火災・故障の原因になります。乾燥などの暖房以外の用途には使用しないでください。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- ・本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



電池の取り扱いには充分注意する

使いかたを誤ると、発熱や破損、けが・やけど・感電の原因になります。

- ・指定以外の電池を使わない
- ・＋と－を逆にして使わない
- ・充電、分解、加熱しない
- ・ショートさせない
- ・火の中に入れたり、加熱しない
- ・水につけたり、ぬらさない
- ・子どもの手の届くところに置かない
- ・子どもがなめたり飲み込んだりしないように注意する
- ・電池から漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流す
- ・長期間使わないときは、電池を取り出す など

警告

設置に関する注意事項



禁止

不安定な場所の上では使わない
転倒によるけが・故障の原因になります。以下のような物の上や近くでは使わないでください。
毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂、カーテン など



禁止

本体の上に物を載せたり、本体の下に物を置いて使わない
故障の原因になります。



水ぬれ禁止

屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所や湿気が多い場所では使わない
ショート・感電の原因になります。



直射日光の当たらない場所に設置する
本体の変質・変色の原因になります。



禁止

仰向け、横倒し、逆さまにしない
変形・故障・感電の原因になります。



禁止

テーブルや机の下、電源をとるコンセントのすぐ下では使わない
本体の上部をふさぐと、故障の原因になります。また、ヒーターの熱でコンセントや電源コード・電源プラグが変形、変質し、火災の原因になります。

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりは拭き取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V 以外での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



コンセントを単独で使う
コンセントが2口、3口であっても、他の製品と併用せず、単独で使用してください。発熱による火災の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねる など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

延長コードやテーブルタップは絶対に使わない
コンセントや電源プラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

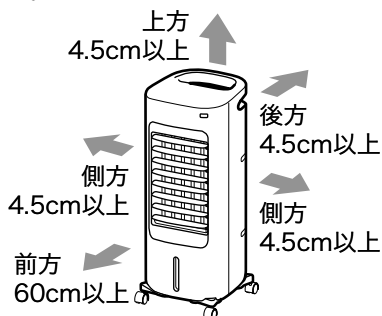
使用上の注意事項



禁止

壁や家具、カーテンなどの近くで使わない、壁に押しつけない

モーターに負荷がかかり、異常発熱の原因になります。壁や家具などから前方60cm、上方・後方・側方4.5cm以上離して、設置してください。



禁止

犬や猫などのペットの冷暖房用には使わない

ペットが本体や電源コードを傷つけ、火災・故障の原因になります。



禁止

保冷剤のフタは絶対に開けない

冷却剤に触れたり、誤って飲み込んだりして健康を害するおそれがあります。



禁止

風を長時間、体に直接当てない

健康を害する原因になります。特に、乳幼児・お年寄り・ご病気のかたは注意してください。



禁止

水タンクに水道水以外の物を入れない

ガソリン・灯油・40℃以上のお湯・化学薬品・汚れた水などは入れないでください。事故・故障・けが・汚れの原因になります。



禁止

背面カバー（防じん仕様）を外した状態で運転しない

本体内部にほこりがたまり、異常発熱や故障の原因になります。



禁止

本製品は家庭用のため、業務用として使わない

故障の原因になります。



プラグを抜く

外出するときや長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜く

外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



キャスターを、必ず本体底面の4か所に取り付けて使う

転倒や床を傷つけたり、電源コードが断線して故障の原因になります。



本体を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜いて、水タンクを取り外した状態で移動する

電源が入ったまま移動すると、故障の原因になります。また、水タンクの水がこぼれて床をぬらす原因になります。



水タンクを使わないときは水を捨てる

水タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。お手入れをせずにお使いになると、水あかやミネラル分が付着したり、カビや雑菌が繁殖して、異臭を発生したり、健康を害する原因になります。



フィルターのお手入れは定期的に行う

ほこりなどがたまると、異常発熱や故障の原因になります。



高温の水蒸気が放出されるため、機器を用いるときは注意することが望ましい

ルーバー（吹き出し口）近くに触れると、やけどの原因になります。



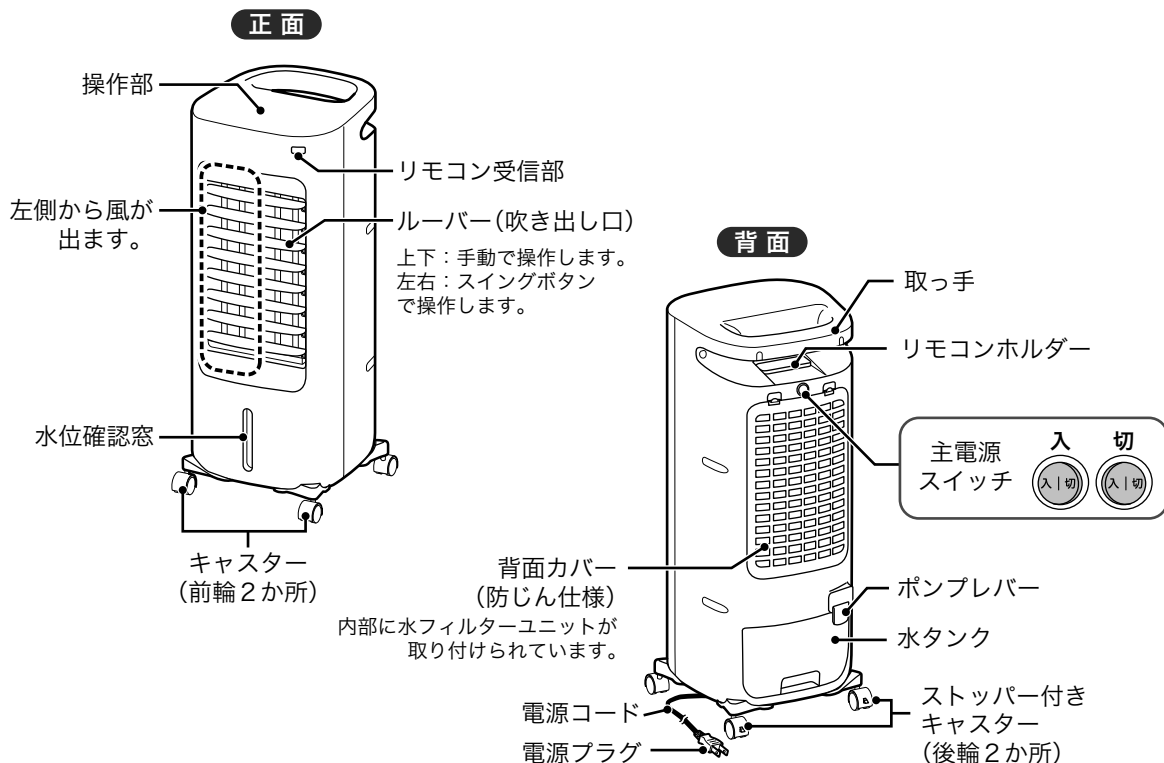
禁止

ルーバー（吹き出し口）に指を入れない

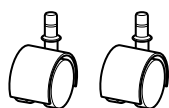
けがの原因になります。

各部のなまえ

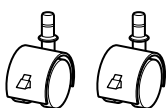
本体



▶ キャスター



▶ ストッパー付きキャスター



➔ 「キャスターを取り付ける」 8ページ

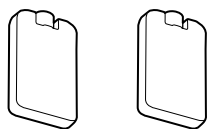
付属品

▶ リモコン



(テスト電池付き)

▶ 保冷剤



(取り替え用)

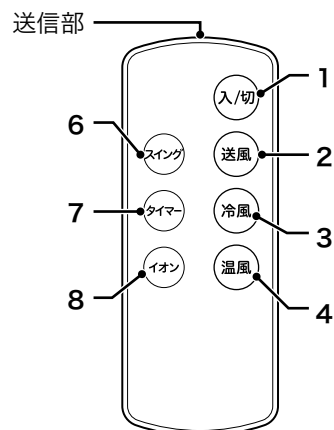
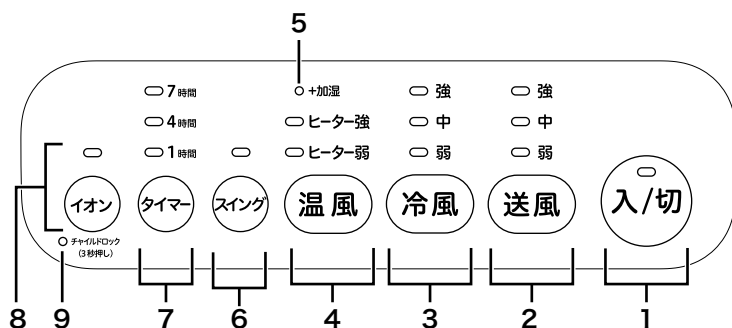
ご注意

- 保冷剤は水タンクの指定の場所に入れてください。➔ 「冷風運転する」 11ページ
指定の場所以外に入れると、給水ポンプに保冷剤が引っかかり、水タンクの取り外しができなくなることがあります。

各部のなまえ

操作部／リモコン

ランプは本体の操作部のみにあります。

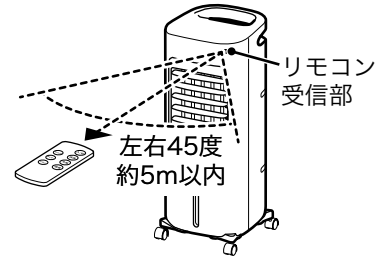


名称		説明
1	電源入/切ボタン/ランプ	電源の入/切を切り替えます。 電源を入れるとランプが点灯し、切ると消灯します。
2	送風ボタン/ランプ	送風運転の風量を切り替えるときに押します。 選択中の送風ランプが点灯します。
3	冷風ボタン/ランプ	冷風運転の風量を切り替えるときに押します。 選択中の冷風ランプが点灯します。
4	温風ボタン/ランプ	温風運転のヒーターの強弱・加湿の入/切を切り替えるときに押します。 選択中の温風ランプが点灯します。
5	加湿ランプ	温風運転で加湿を選択するとランプが点灯します。
6	スイングボタン/ランプ	スイングの入/切を切り替えるときに押します。 スイングを「入」にするとランプが点灯し、「切」にすると消灯します。
7	タイマーボタン/ ランプ	切タイマーを設定するときに押します。 押すたびに1時間、4時間、7時間、切タイマーオフが切り替わります。切タイマーを選択すると設定中の時間のランプが点灯し、切タイマーオフを選択すると消灯します。
8	イオンボタン/ランプ	イオン運転の入/切を切り替えるときに押します。 イオン運転を「入」にするとランプが点灯し、「切」にすると消灯します。 また、約3秒間長押しすることでチャイルドロックの設定/解除が切り替わります。
9	チャイルドロックランプ	チャイルドロック設定時にランプが点灯し、解除すると消灯します。

リモコンの使いかた

リモコンで本体の操作ボタンと同じ操作ができます。
リモコンをお使いになる前に裏面の絶縁シートを引き抜いてください。

- 運転や設定をするときは、リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて、ボタンを押します。
- リモコンを操作できる範囲は約5mです。



ご注意

- 以下のような場合は、リモコンの操作ができないことがあります。
 - ・ 本体の受信部とリモコンの間に障害物がある場合
 - ・ インバーター照明器具、電子瞬時点灯照明器具をお使いの場合
 - ・ 本体の受信部に直射日光などの強い光が当たっている場合

おしらせ

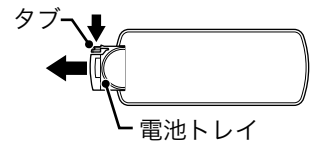
- お買い上げ時はテスト電池が入っています。テスト電池のため寿命が短い場合があります。
- 本体背面にあるリモコンホルダーにリモコンを載せておくことができます。

▶ 電池交換のしかた

- 本体がリモコンの操作を受け付けなくなったときは、市販の新しいリチウム電池(CR2032)と交換してください。

1

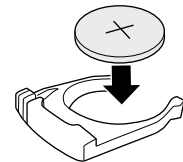
リモコンを裏返し、電池トレイのタブを押しながら引き出す



2

古い電池を新しい電池に交換する

印字面(+側)を上向きにしてリチウム電池を電池トレイに入れます。



3

電池トレイをリモコンに差し込む

ご注意

- リチウム電池は子どもの手の届くところに置かないでください。
- 子どもが電池をなめたり飲み込んだりしないように充分注意してください。
- 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
- リチウム電池を火の中に入れたり、加熱、分解、改造をしないでください。
発熱、破裂による液漏れやけがの原因になります。

お使いになる前の準備

キャスターを取り付ける

ご注意

- キャスターは必ず取り付けてください。
取り付けないと、転倒や床を傷つけたり、電源コードが断線して故障の原因になります。
- 必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

1

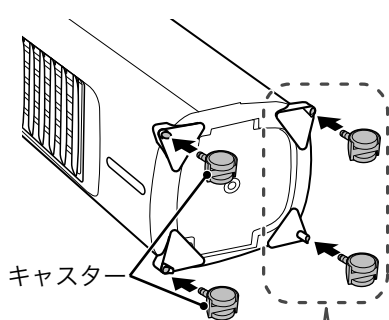
タオルなどの柔らかいものを敷いて、その上に本体を横倒しに置く

- 床に本体を直接置くと、床に傷がつく原因になります。

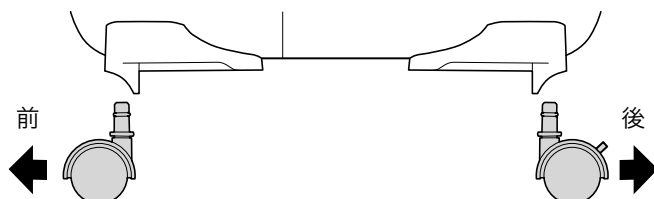
2

キャスター、ストッパー付きキャスターを本体底面の4か所の取り付け穴にまっすぐ差し込む

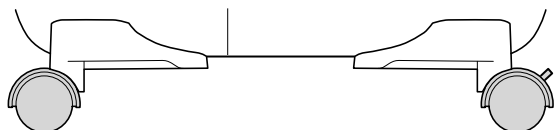
- ストッパー付きのものとはストッパー無しのもので2個ずつ付属しています。本体背面側にストッパー付きのキャスターを取り付けてください。
- キャスターが外れないように、取り付け穴の奥までしっかりと押し込んでください。
- キャスターには向きがあります。前側のキャスターは前に向けて、後側のストッパー付きキャスターは後ろに向けて、取り付け穴の奥までしっかりと押し込んでください。



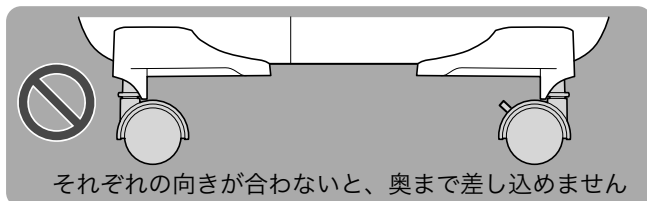
キャスターには向きがあります



キャスターを本体に対して前後に向ける



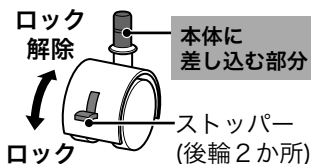
差込み口の形状とキャスターの向きを合わせてください



それぞれの向きが合わない、奥まで差し込めません

ストッパー付きキャスター

ロック解除



本体に差し込む部分

ストッパー (後輪2か所)

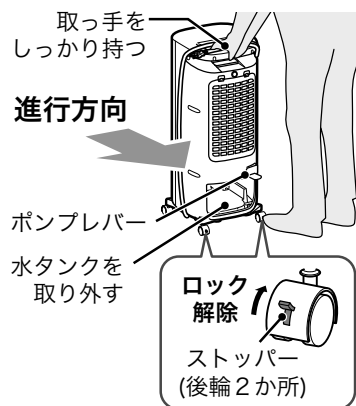
ご注意

- ストッパー付きキャスターは、ロックした状態で取り付けてください。
本体が不意に動き、けがや故障の原因になります。
- 一度取り付けしたキャスターは取り外さないでください。
取り付け穴が緩み、キャスターが外れやすくなります。

▶ 本体を移動するときは

取っ手部分をしっかりと持って、進行方向に引いて移動してください。

- ① **入/切** を押して電源を切り、主電源スイッチを「切」にする。電源プラグをコンセントから抜く
- ② ポンプレバーを上げて、水タンクを取り外す
→ 「冷風運転する」 11ページ
- ③ ストッパー付きキャスターのロックを解除する
- ④ 取っ手と電源コードを持ち、引いて移動する
電源コードを引きずらないように手で持ってください。

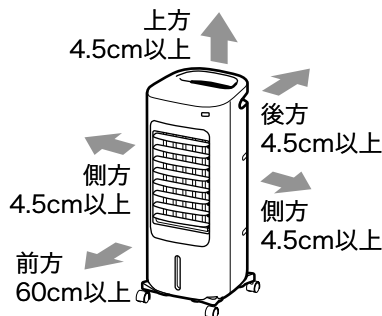


ご注意

- 真横に移動するときは本体を持ち上げて移動してください。
- 移動させるときは、周囲に人や物がいないことを確認してください。
けがや故障の原因になります。
- キャスターのロックは解除して移動してください。
床を傷つける原因になります。

設置場所について

壁や家具、カーテンなどから右図の寸法を離して使用してください。
火事や事故、故障の原因になります。



メモリー機能について

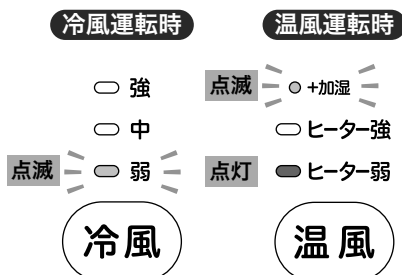
本製品は、前回ご使用時の運転モード、風量、イオン設定、スイング設定が記憶されます。
電源入/切ボタンで電源を切って再び電源を入れた際、前回ご使用時の設定で運転を開始します。

- 主電源スイッチを「切」にした場合や電源プラグを抜いた場合は、記憶されたメモリーがリセットされます。
- お買い上げ後初めて使用する場合やメモリーがリセットされた後は、電源を入れると送風運転の「弱」で運転を開始します。

給水のおしらせについて

冷風運転または温風+加湿運転を行う際に水タンクの水が不足した場合や、水タンクが取り付けられていないとき、給水ポンプが水タンクに下りていないときにお知らせします。





- 冷風運転時は選択中の風量ランプが、温風+加湿運転時は加湿ランプが点滅し、「ピピピピピピ」とブザーが鳴ります。
(選択中の温風ランプは点灯します。)
- 水タンクに水を入れ、本体に取り付けてください。取り付け後、冷風ボタンまたは温風ボタンを押してください。
- 「冷風運転する」 11ページ



| 使いかた

本機は、夏場は水の気化熱を利用して冷風を送り出す扇風機として、冬場は加湿した空気をヒーターで温めて送り出す暖房機として、一年を通してお使いいただけます。

送風運転、冷風運転、温風運転に加え、加湿機能、左右の風向きを変える(スイング機能)、切タイマー機能、イオンを発生させる機能、チャイルドロック機能があります。

運転の種類	ボタン	機能	水
送風運転		ファンのみの送風運転	使わない
冷風運転		気化熱効果でひんやりとした風	使う
温風運転		ヒーターによる温風運転	使わない
温風+加湿運転	 ○ +加湿	温風に加湿機能をプラスします	使う

知っておいていただきたいこと

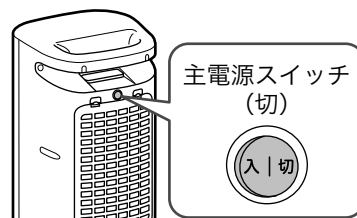
- 本体が傾いていると、自動電源遮断装置が働き電源が入りません。また、運転中に本体が傾くと自動的に電源が切れます。
- 水フィルターユニットが本体に取り付けられていないと電源が入りません。必ず水フィルターユニットと背面カバーを取り付けてください。
 - ➔ 「水フィルターユニットの取り付けかた」 [17ページ](#)
 - ➔ 「背面カバーの取り付けかた」 [17ページ](#)

運転開始前の準備

本体の主電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込む

ご注意

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んで、ゆるみがないことを確認してください。
- 延長コードやテーブルタップは絶対に使わないでください。



主電源スイッチは本体の背面にあります。

送風運転する

1

主電源スイッチを「入」にする

- 「ピピッ」という音がします。

2

 を押して、電源を入れる

- 本体の電源入/切ランプが点灯し、前回ご使用時の設定で運転を開始します。

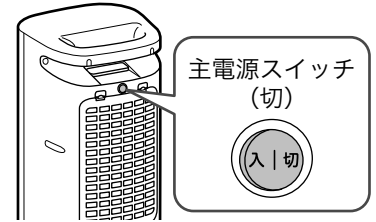
3

 を押して風量を切り替える

- 現在の風量に応じて、本体の風量ランプ「弱」「中」「強」が点灯します。
- 送風ボタンを押すたびに、風量が1段階ずつ強くなります。風量が「強」のときに送風ボタンを押すと、風量は「弱」に戻ります。

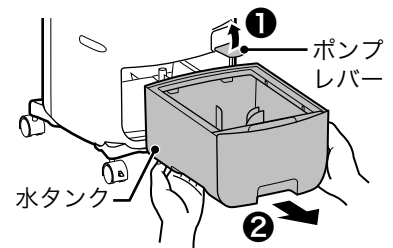
冷風運転する

1 本体の主電源スイッチが「切」になっていることを確認する



2 本体から水タンクを取り外す

- ポンプレバーを上へ上げてロックを解除し、水タンクをまっすぐ引き出します。
- 水タンクは底部を持ってください。



ご注意

ポンプレバーを上げてから水タンクを取り外してください。

ポンプレバーを上げずに水タンクを無理に引き出すと故障の原因になります。➡ 20ページ

▶ さらに冷たい風を出したいときは

冷風運転をするときに、さらに冷たい風を出したい場合は、付属の保冷剤を冷凍庫で凍らせて、水タンクの中に入れてください。

- 保冷剤を使用しない場合は、手順3へ進んでください。

ご注意

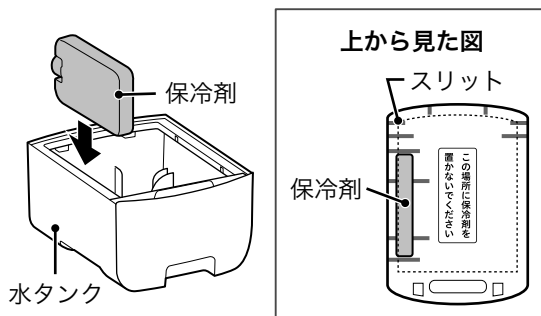
- 絶対に保冷剤のふたを開けないでください。
- 保冷剤の中身が皮膚についた場合は、すぐに石けんと水でよく洗ってください。
- 保冷剤の中身を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
- 保冷剤の中身が目に入った場合は、すぐに水でよく洗い、異常があったときは医師の診断を受けてください。
- 保冷剤を使用して冷風運転をすると、水タンクが結露することがあります。水滴が落ちて床をぬらす原因になります。

1 保冷剤を冷凍庫で凍らせる

- 保冷剤は約4時間で凍ります。
- 保冷剤は凍ると膨張します。冷凍庫内のスペースに注意してください。
- 保冷剤はくり返し使用できます。保冷剤の効果がなくなったら、再度冷凍庫で凍らせてください。

② 水タンクに保冷剤を入れる

- 保冷剤は水タンクのスリットに沿って差し込んでください。

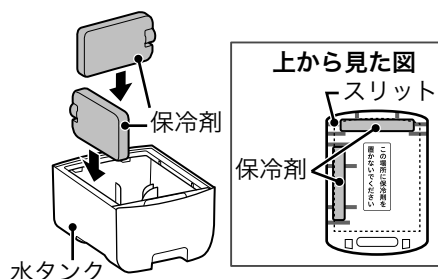


おしらせ

- 水タンクに保冷剤を2個入れると、より風が冷たくなります。

ご注意

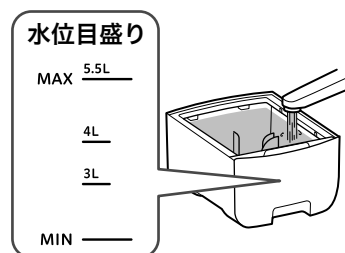
- 水タンクに水を入れてから保冷剤を入れると水があふれる原因になります。
必ず先に保冷剤を入れてください。
- 保冷剤は必ず上記の場所に入れてください。
上記以外の「この場所に保冷剤を置かないでください」と記載した場所に入れると、給水ポンプに保冷剤が引っかかり、水タンクの取り外しができなくなることがあります。



3

水タンクに水を入れる

- 水を入れる量は水位目盛りの「MIN」と「MAX」の目盛りの範囲内としてください。
- 水タンクには最大（「MAX」の目盛りの位置）で約5.5リットルの水が入ります。



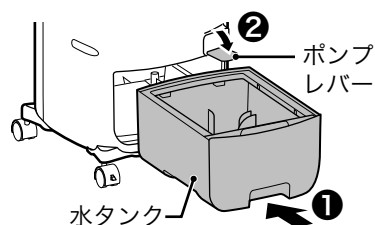
ご注意

- 水道水を使用してください。
- 水が「MIN」の目盛りの位置以上に入っていないと冷風/加湿運転はできません。
水位が「MIN」の目盛りの位置まで下がったら、水を補給してください。
- 水を「MAX」の目盛りの位置以上に入れないでください。
水漏れや故障の原因となります。
- 水タンクには40℃以上のお湯を入れないでください。
水タンクが変形する原因になります。

4

水タンクを元通りに取り付ける

- 水タンクを奥まで差し込み、指を挟まないように注意しながらポンプレバーをゆっくりおろしてロックします。
- 水タンクの水がこぼれないよう注意してください。
- 水タンクは底部を持ってください。



5

主電源スイッチを「入」にして  を押し、電源を入れる

- 本体の電源入/切ランプが点灯し、前回ご使用時の設定で運転を開始します。

6

 を押す

- 冷風ランプが点灯し、冷風運転に切り替わります。
- 冷風ボタンを押すたびに、風量が1段階ずつ強くなります。風量が「強」のときに冷風ボタンを押すと、風量は「弱」に戻ります。

おしらせ

水タンクの水量が不足しているときは、ブザーが鳴り、冷風運転が停止します。
水タンクに水を入れてください。

➡ 「給水のおしらせについて」 [9ページ](#)

温風運転する / 温風+加湿運転する

温風運転をする(温風+加湿運転をしない)ときは、水タンクに水を入れる必要はありません。水を入れずに手順2から始めてください。

1

温風+加湿運転をする場合、水タンクに水を入れる

- 加湿を行わない場合は、水を入れずに次の手順へ進んでください。
- ➡ 「冷風運転する」 [11ページ](#) の手順1～4を行ってください。
温風+加湿運転は保冷剤を使用しません。水タンクに保冷剤を入れないでください。

2

主電源スイッチを「入」にして  を押し、電源を入れる

- 本体の電源入/切ランプが点灯し、前回ご使用時の設定で運転を開始します。

3

 を押す

- 温風ランプが点灯し、温風運転に切り替わります。
- 温風ボタンを押すたびに、「温風(弱)」→「温風(強)」→「温風(弱+加湿)」→「温風(強+加湿)」→「温風(弱)」…の順に切り替わります。
- 加湿を選択しているときのみ、加湿ランプが点灯します。

おしらせ

温風運転から送風運転または冷風運転に切り替えた場合、ヒーターを冷やすために約60秒送風したあと、送風運転または冷風運転に切り替わります。

ご注意

- 温風運転時はルーバー(吹き出し口)が高温になります。ルーバー(吹き出し口)を触らないでください。
やけどの原因になります。

| 使いかた

風の向きを変える

左右のルーバーの作動/停止を切り替えて、風の向きを変えることができます。

運転中に **スイング** を押す

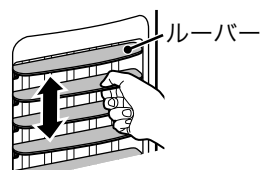
- スイングランプが点灯し、本体のルーバーが左右に動きます。
- スイングボタンを押すたびに、ルーバーの作動/停止が切り替わります。

▶ 上下の風の向きを変える場合は

ルーバーを手で上下に動かします。ルーバーを1つ動かすと、連動してすべてのルーバーの上下の向きが変わります。

ご注意

- 温風運転時はルーバー（吹き出し口）が高温になります。運転中、運転停止直後はルーバー（吹き出し口）を触らないでください。



イオン運転する

マイナスイオンの発生/停止を切り替えます。

運転中に **イオン** を押す

- イオンランプが点灯し、マイナスイオンが発生します。
- イオンボタンを押すたびに、マイナスイオンの発生/停止が切り替わります。

切タイマーを使う

予約した時間に自動的に運転が停止するように切タイマーを設定します。

運転中に **タイマー** を押す

- ボタンを押すごとに、切タイマーランプが「1時間」→「4時間」→「7時間」→「すべて消灯(切タイマーオフ)」→「1時間」…の順に点灯し、切タイマー設定が切り替わります。
- 電源入/切ボタンを押して電源を切ると、切タイマーの設定は解除されます。

チャイルドロックを使う

チャイルドロックを設定することで、小さなお子様のいたずらや誤操作を防止します。

イオン を約3秒間長押しする

- チャイルドロックランプが点灯し、チャイルドロックが設定されます。
- チャイルドロックを解除するには再度イオンボタンを約3秒間長押ししてください。チャイルドロックランプが消灯します。
- チャイルドロック設定中にできること
 - 運転中：電源を切る、チャイルドロックの解除
 - 運転停止時：チャイルドロックの解除
- 主電源スイッチを「切」にした場合や電源プラグを抜いた場合は、設定が解除されます。

運転を停止する

入/切 を押して、運転を停止する

- 電源入/切ランプが消灯します。

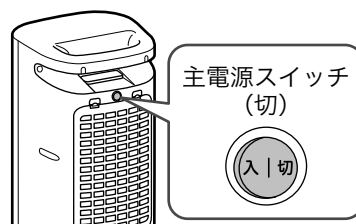
ご注意

- 水タンクに水を入れて冷風運転または温風+加湿運転を行った際は、残った水を捨ててください。

▶ 「お手入れ」 16 ページ

▶ 外出するときや長期間使用しないときは

主電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く



お手入れ

ご注意

- **お手入れや保管は、電源と主電源スイッチを切って、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**
高温部に触ると、感電・やけど・けがの原因になります。
- **本体およびリモコンを丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。**
故障の原因になります。
- **ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉は使用しないでください。**
傷・変質・変色の原因になります。

本体のお手入れ

- 乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ります。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた食器用中性洗剤を浸み込ませてよく絞ってから拭き取ります。その後、乾いた柔らかい布で水気と洗剤を拭き取ります。

水タンクのお手入れ

- 水洗いをして柔らかい布で水気を拭き取ります。
- 水タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。お手入れをせずにお使いになると、水あかやミネラル分が付着したり、カビや雑菌が繁殖して、異臭を発生したり、健康を害する原因になります。

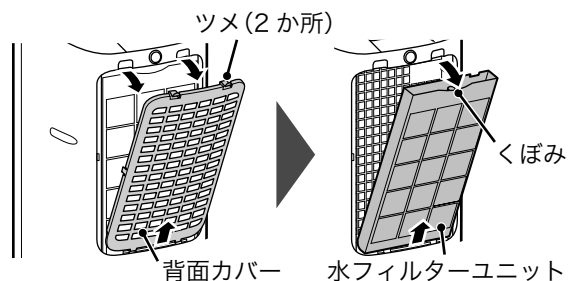
背面カバー、水フィルターユニットのお手入れ

背面カバーや水フィルターユニットにごみやほこりが付着すると、風量が弱くなったり、本体が熱を持って故障の原因になります。下記の手順で、定期的(1か月に一度を目安)にお手入れしてください。

▶ 背面カバー、水フィルターユニットの外しかた

運転停止後60秒ほど待ってから、
背面カバーと水フィルターユニットを
取り外す

- 背面カバーは上2か所のツメを軽く押しながら取り外します。
- 水フィルターユニットは上のくぼみ部分を引き出して取り外します。

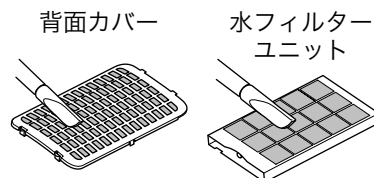


ご注意

運転停止後すぐに取り外すと、フィルターに含まれた水がこぼれて床をぬらす原因になります。

▶ 背面カバー、水フィルターユニットのお手入れのしかた

1 背面カバー、水フィルターユニットに
たまったごみやほこりを掃除機で吸
い取る



2 汚れがひどいときは、背面カバー、水フィルターユニットを水洗い
して、よく乾燥させる

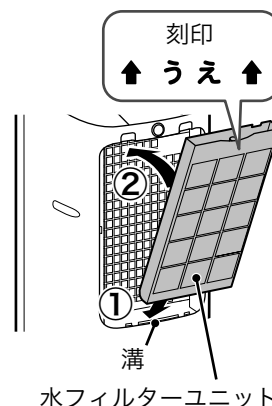
- 水フィルターユニットが充分乾いていないと、カビが発生する原因になります。
- 次の場合は、水フィルターを新しいものに交換してください。
 - ▶ 「部品・消耗品」[21ページ](#)
 - お手入れしてもにおいや汚れが取れない。 ● 傷みがひどい。

▶ 水フィルターユニットの取り付けかた

水フィルターユニットを本体背面にしっかり取り付ける

- 水フィルターユニットは右図の刻印がある面を手前側にして取り付けてください。水フィルターユニットの向きが間違っていたり、正しく取り付けられていない場合は、電源を入れることができません。

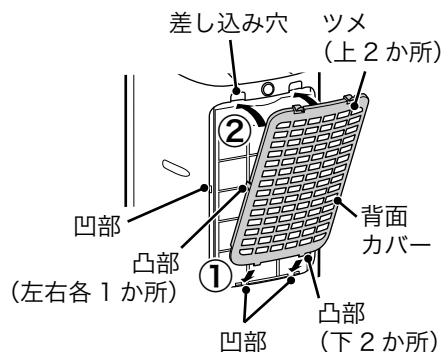
- ① 水フィルターユニットの下部を本体の溝に
差し込む
- ② 水フィルターユニットの上部を押して取り付ける



▶ 背面カバーの取り付けかた

背面カバーを本体背面に取り付ける

- ① 背面カバー下部の凸部と左右の凸部(計4か所)
を本体の凹部に差し込む
- ② 背面カバー上部のツメを差し込み穴に押し込んで取り付ける



保管する

- 水タンクの水を捨て、完全に乾燥させてから保管してください。
- お手入れをした後、元の包装ケースに入れるか、ポリ袋をかぶせてほこりや湿気の少ないところで保管してください。
- キャスターは取り外さないでください。取り付け穴が緩み、キャスターが外れやすくなります。

故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 運転しない。

- | | | |
|--|---|---|
| A1 電源プラグが抜けていませんか。 | } | 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 |
| A2 主電源スイッチが《切》になっていませんか。 | } | 本体後面の主電源スイッチを《入》にして、電源を入れてください。
➡「運転開始前の準備」 10ページ |
| A3 停電していませんか。 | } | 運転中に停電した場合は、本体の電源を切って、 電源プラグをコンセントから抜いてください 。停電復帰後に、再び電源を入れてください。 |
| A4 本体が傾いていたり、不安定な場所に置かれていたりしませんか。 | } | 転倒時自動電源遮断装置が動き、運転が停止している場合があります。本体を平らな場所に置いてお使いください。 |
| A5 本体周囲の温度が高くなっていませんか。 | } | 過熱防止装置が動き、自動的に電源が切れている場合があります。電源が切れたときは、シロカサポートセンターまでお問い合わせください。 |
| A6 水フィルターユニットが本体にしっかり取り付けられていますか。 | } | 水フィルターユニットがしっかり取り付けられていないと、電源が入りません。
➡「水フィルターユニットの取り付けかた」 17ページ |
| A7 チャイルドロックを設定していませんか。 | } | チャイルドロックを解除してください。
➡「チャイルドロックを使う」 15ページ |

Q2 リモコンで操作できない。

- | | | |
|------------------------------------|---|---|
| A1 本体に向けて操作していますか。 | } | リモコンを本体に向けて操作してください。 |
| A2 電池が消耗していませんか。 | } | 新しい電池に交換してください。 |
| A3 電池の入れ方(＋と－の方向)が間違っていないか。 | } | 電池を正しい向きで入れ直してください。
➡「電池交換のしかた」 7ページ |
| A4 本体とリモコンの間に障害物はありませんか。 | } | 障害物を取りのぞいてください。 |
| A5 チャイルドロックを設定していませんか。 | } | チャイルドロックを解除してください。
➡「チャイルドロックを使う」 15ページ |

Q3 冷風・温風+加湿運転ができない。本体操作部のランプが点滅している。

- | | | |
|---|---|-----------------|
| A 水タンクの水位が、「MIN」の目盛り以下になっていませんか。 | } | 水タンクに水を入れてください。 |
|---|---|-----------------|

**Q4 温風運転ができない。
ヒーター強/ヒーター弱またはチャイルドロックのランプが点滅している。**

- A** 一時的に動作が不安定になっている可能性があります。電源と主電源スイッチを切って様子を見てください。約20秒たってから電源を入れ直し、ヒーター強/ヒーター弱またはチャイルドロックのランプが点滅して温風が出ない場合、販売店またはシロカサポートセンターにご連絡ください。

Q5 風が弱い。

- A** 水フィルターユニットに、ごみやほこりが付着していませんか。 > 定期的に、付着しているごみやほこりを取り除いてください。
➔ 「お手入れ」 16 ページ

Q6 本体から出る風がおう。

- A** 水タンク、水フィルターユニットがよごれていませんか。 > 定期的に、水タンク、水フィルターユニットをお手入れしてください。
➔ 「お手入れ」 16 ページ

Q7 使用中、電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。

- A1** たこ足配線をしていませんか。延長コードを使用していませんか。 > たこ足配線、延長コードの使用を中止してください。たこ足配線や延長コードで他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して、火災・感電・故障の原因になります。
- A2** 電源プラグが抜けかけていませんか。 > 電源プラグを根元までコンセントに確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。
- A3** 差し込み口が2口あるコンセントで、両方の差し込み口をお使いではありませんか。 > コンセントの差し込み口が2口、3口であっても、本製品をお使いのときは単独でお使いください。
- A4** 電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げていませんか。 > 電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げないでください。電気の流れが悪くなり、ショート・発火の原因になります。
- A5** 電源コードをコードホルダーに巻いたり、束ねた状態で使っていませんか。 > 使用中は電源コードを束ねないでください。熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原因になります。
- A6** 電源プラグやコンセントに、ごみやほこりが付着していませんか。 > 定期的に、付着しているごみやほこりを拭き取ってください。
- A7** コンセントがガタついたり、差し込みがゆるくありませんか。 > お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
- A8** 電源プラグ・電源コードが傷ついたり、変形・破損していませんか。 > シロカサポートセンターに、修理・交換を依頼してください。

| 故障かなと思ったら

Q8 電源を切ったのに運転が停止しない。

A 温風運転をしていませんか。

温風運転直後は、ヒーターを冷やすために60秒ほど送風が続きます。

Q9 水タンク内の水に色がつく。

A ご使用条件によっては、水フィルターが色落ちし、水タンク内の水が着色することがあります。

水を取り替えてご使用ください。

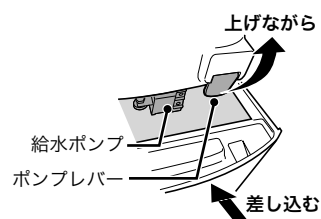
- 水フィルターは、染料の性質上、色落ちすることがありますが、人体への影響や製品使用上の問題はありません。
- 水タンクに色が移ったときは、水拭きしてください。

Q10 水タンクが取り付けられない。／取り外せない。

ポンプレバーを上げずに水タンクを無理に引き出すと、給水ポンプが水タンクに引っかかり、取り付け・取り外しができなくなることがあります。

A 給水ポンプが上へ上がるまでポンプレバーをゆっくり上げながら、水タンクを奥に差し込んでください。

上記のことを行ったあと、水タンクを取り出せない場合は、無理に取り出さないでください。故障の原因になります。



Q11 運転中に独特のにおいがする。

A 使いはじめたばかりではありませんか。

はじめてお使いになるときに、新製品特有のにおいがすることがありますが、故障ではありません。お使いになるうちに、気にならなくなります。

| 仕様

品名(型番)	加湿つき温冷風扇(SH-C252)
電源	交流100 V、50/60 Hz
消費電力	温風強 1250 W、温風弱 850 W、冷風 50 W
質量(約)	8 kg (キャスター含む)
外形寸法(約)	幅29 cm × 奥行33 cm × 高さ74 cm (キャスター含む)
電源コードの長さ(約)	1.8 m
水タンク容量(約)	5.5 L
加湿量(約)	1時間あたり最大 450 mL (温風時200 mL)
付属品	リモコン(テスト電池付き)、保冷剤 × 2
原産国	中国

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

| 部品・消耗品

劣化・損傷したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店でお買い求めください。

部品名	部品コード
水フィルターユニット	SH-C251FU
リモコン	SH-C251RC


部品・消耗品は、販売店のほかに、インターネットでもご注文いただけます。

<https://siroca.jp/>

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。
	【設計上の標準使用期間】本体に表示してあります。
	※設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証するものでもありません。

標準使用条件

日本工業規格JIS C9921-1および(社)日本電機工業会自主基準HD-116-3による

環境条件	電圧	100V	
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30°C	
	湿度	65%	
設置条件	標準設置	製品の取扱説明書による (水平で安定した場所)	
負荷条件		定格負荷(風速)	製品の取扱説明書による
想定時間等	1日あたりの使用時間	8 (時間/日)	
	1日の使用回数	5 (回/日)	
	1年間の使用日数	110 (日/年)	
	スイッチ操作回数	550 (回/年)	
	首振り運転の割合	100 (%)	

※環境条件の温度30°C、湿度65%は、JIS C 9601の試験状態を参考としています。

※設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火/けが等の事故に至るおそれがあります。

※“経年劣化”とは、長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

保証とアフターサービス

— 必ずお読みください —

▶ 保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。

保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中（お買い上げ日から1年未満）の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている（お買い上げ日から1年以上）修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後8年です。

その製品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。

お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

— 長年ご使用の製品の点検を! —

- 定期的に「安全上のご注意」や使いかた、ご注意を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

— お客様の個人情報のお取り扱いについて —

- シロカ株式会社（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

シロカの最新情報はこちらでチェック!



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/

保証書

持込修理

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

品名：加湿つき温冷風扇	お買い上げ日： 年 月 日
型番：SH-C252	製造番号：
保証期間：お買い上げ日より本体1年間	販売店：店名・住所・電話
お客様： ふりがな お名前 ご住所 お電話	お願い：未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象にならない場合があります。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでご依頼ください。
ご転居、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、シロカサポートセンターまでご連絡ください。
保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。お買い上げ日を証明するレシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネットでお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認できるものの提示がない場合。
 - 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含みます）
 - 腐食による故障、及び損傷。
 - 消耗部品の交換。
 - お買い上げの製品が、有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。
- 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F

19090022

修理・使いかた・お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記までお問い合わせください。

ホームページ（お客様サポート）

よくあるご質問やメールでのお問い合わせはこちらをご覧ください。

<https://siroca.co.jp/support/>



部品・消耗品のご購入についてはこちらをご覧ください。

<https://siroca.jp>

電話でのお問い合わせ：シロカサポートセンター

ナビダイヤル  **0570-001-469**

上記番号がご利用いただけない場合 **03-3234-8800**

受付時間：**10:00～17:00**

（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）

時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しください。
サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。